

# 「海外渡航に伴う薬剤耐性菌獲得のリスク解析」

## に関する研究参加のお願い

### 【研究の背景】

近年、抗菌薬に抵抗性を獲得した“薬剤耐性菌”が世界中で問題となっています。中でもカルバペネム耐性腸内細菌科細菌（Carbapenem-Resistant Enterobacteriaceae [CRE]）は最も危険な薬剤耐性菌と認識され、特に東南アジア諸国を中心に世界各国に拡散しています。

### 【目的】

本研究は海外渡航に伴う薬剤耐性菌の保菌率及びそのリスク因子解析を行うことを目的としています。

### 【対象者】

2019年7月23日～2025年2月末日の間に海外渡航される方

### 【方法】

海外渡航前後に、ご自身で肛門周囲のぬぐい検体をとって提出していただきます。検体提出とともに、海外渡航状況（渡航先・滞在期間など）についてのアンケートに記入していただきます。

提出検体は特殊培地で培養検査を行い、薬剤耐性菌の有無を調査します。疑い株が認められた場合は、遺伝子検査により耐性遺伝子の有無を判定いたします。回答いただいたアンケートは研究責任者が厳重に保管します。

### 【倫理的配慮】

本研究は岡山大学医療系部局に設置された臨床研究審査専門委員会によって承認を得た上で実施しております。研究結果は、対象者の方の氏名など、対象者の方を直ちに特定できる情報を削除して、医学の論文や学会などで発表される予定です。

この研究へ参加を希望される方は下記の電話番号にご連絡ください。

研究責任者：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座  
准教授 萩谷 英大  
TEL：086-235-7342